

**テーマ名：長距離・広視野角・高解像度・車載用Lidarの開発**

助成事業者：株式会社SteraVision

共同研究先：国立研究開発法人産業技術総合研究所

開発フェーズ 実用化3年＋実証3年	重要技術 自動走行システム	開発期間における助成金額 3億円以上
----------------------	------------------	-----------------------

対象技術の背景

人間の目を超える高性能Lidarによる自動運転車は省力化や人為的ミスによる事故の撲滅ばかりでなく、無駄な加減速を排除した予知運転により、高い省エネルギー効果を期待できる。このため市販車に搭載できる高性能Lidarの開発が課題である。

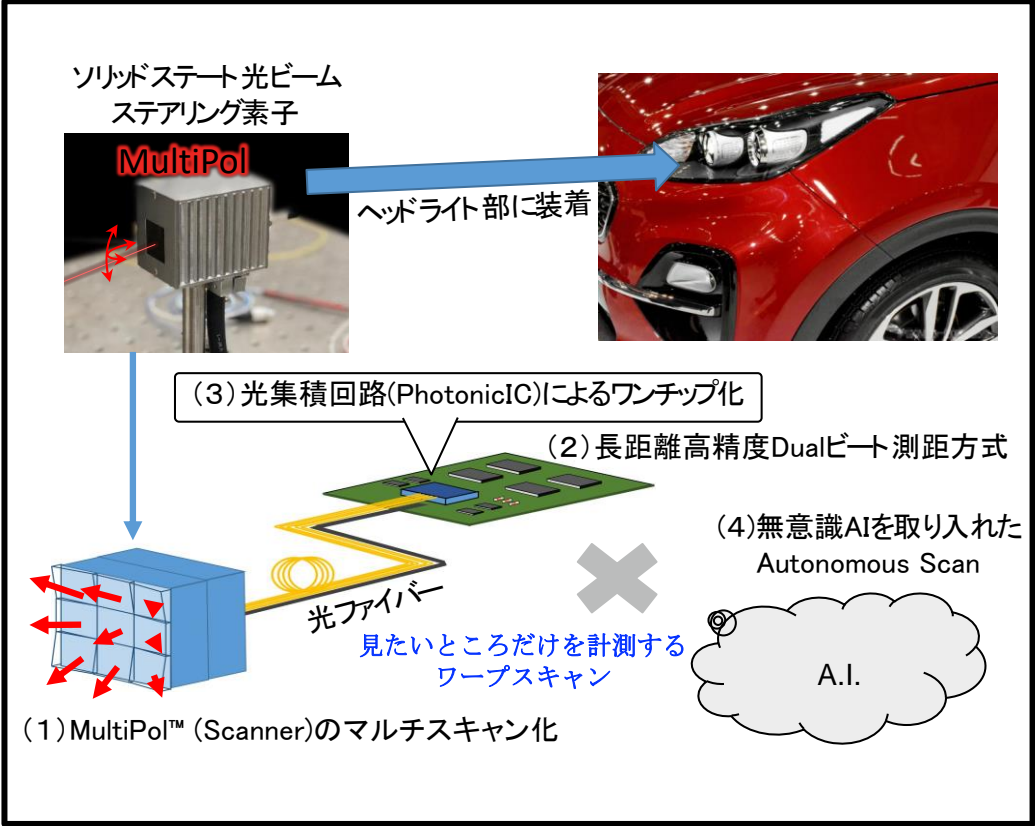
テーマの目的・概要

ソリッドステート光ビームステアリング素子MultiPol™をマルチスキャン化し、Dualビート方式による長距離高精度測距技術の開発、光集積回路によるワンチップ化、無意識AIを取り入れたAutonomous Scanにより、市販車用自動走行システムに必要な高性能Lidarを実現する。

省エネ効果量 (原油換算) (国内)	製品化から3年後	2030年
	2.8万 k L	14.8万 k L

見込まれる成果の説明

開発品を自動車市場に導入することによって7.6%の省エネ効果が見込まれる。  
2030年に国内を走る自動車のうち228万台 に搭載されている(普及率2.8%)と見込んでいる。



省エネルギー技術開発のポイント  
本開発は、燃費効率の良い自動走行システムに必須な高性能Lidarを開発し、省エネ化を目指すものである。